

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/3 )

学部・学科	臨床心理学部・教育福祉心理学科	職名	助教	氏名	ホリ 堀	ウチ 内	ウタ 詩	コ 子
学歴	平成13年 3月 大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻 卒業 平成21年 3月 京都教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育専修 学校臨床心理学コース 修了							
学位	平成21年 3月 教育学修士 ( 京都教育大学 第1142号 )							
専門分野	臨床心理学							
専門資格	平成21年 3月 中学校教諭専修免許状 ( 音楽 ) 平20中専 第230号 平成21年 3月 高等学校教諭専修免許状 ( 音楽 ) 平20高専 第296号 平成22年 4月 臨床心理士 ( 21544号 )							
所属学会	平成21年 3月 日本心理臨床学会 平成23年 6月 日本保育学会 平成23年 6月 日本音楽療法学会 平成25年 7月 日本教育心理学会							
受賞								
担当 授業科目	学 部 心理学実験 ・ 、保育表現技術 ・ 、初年次演習、教育福祉心理学演習 ・ 、教育福祉 心理学基礎演習、教育福祉心理学実践演習 ( 学校インターンシップ )、臨床心理学実践演習 ( カ ウンセリング3 )、臨床心理学実践演習 ( フォーカシング ) 保育内容演習 ( 表現 ) 心理学実 験査定 ・ 、音楽							
論文指導	論文指導担当 [ 主査 ] ( 卒論 : なし ) 論文審査担当 [ 副査 ] ( 卒論 : 7名 )							
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数				
	保育内容演習 ( 表現 )	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	31 名				
	授業の概要 :							
	音楽活動はその対象となる相手によって活動内容を変化させていくことが重要となる。その ため、本授業においては受講者の音楽活動におけるレパートリーを増やすとともに、場に応じ て応用できるような実践力を育成することを目的とし、構成している。							
	教育活動の振り返り 教育活動の成果 : 「音楽」を介した人間関係が子どもの育ちにどのような影響を与えるのか、学生は授業の中 で体験的に経験する中で、音を介した人間関係に目を向けることが出来るようになった。 今後の課題 : 講義に比べて、体験的な学習が比重として多くなりすぎてしまったという課題がある。臨床 心理学をベースとして音にまつわる活動をどのように保育士として支えるか、学生とともに考 えていくことが今後の課題と言えよう。							
・ 学内外のFD関連講演会 / セミナー等への参加実績 特になし。								
・ 教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 資格指導に伴う個別活動 : ピアノの学習を大学から始める学生に授業外で定期的に個人レッ スンを行い、基礎力をつけるための教育活動を行った。								

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/3)

<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 乳児院における音楽活動について 2. 若手保育士のカウンセリングスキルに関する研究 3. 学校現場における臨床心理学的知見の活用について</p>
<p>研究活動の概要 (2014) 平成二十六年 年度の</p>	<p>1. 乳児院における音楽活動について：論文としてまとめ、現在投稿準備中。 2. 若手保育士のカウンセリングスキルに関する研究：論文としてまとめ、現在投稿準備中。 3. 学校現場における臨床心理学的知見の活用について： SC (スクールカウンセラー) として公立小学校に携わり、教育の中でどのように心理学的知見が生かされるか、保護者や教員との関わりの中で研究を深めた。</p>
<p>平成二十六年 (2014) 年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 「Chapter7 音楽科授業 &amp; 学習のユニバーサルデザイン」、共著 (当該部分担当)、平成26年9月、明治図書、亀岡正睦編著、『小学校の学びを変える！ 授業と学習のユニバーサルデザイン』(pp112-121, 160p)</p> <p>(論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等) (学内活動) 宗教委員会委員、学生相談室運営委員会委員、PSW委員会委員、オープンキャンパス担当</p>
<p>平成二十六年 (2014) 年度の 社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) 平成26年11月 平成26年度秋期教員免許状更新講習講師 (共同) 「子どものこころ」を育む関わり、於:京都文教大学</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師) 平成26年 9月 京都府スクールカウンセラー研修会 (研修担当・発表) 平成26年10月 京都市「学びのパートナー」学生ボランティア研修会 (コメンテーター)</p> <p>(その他) ・京都市スクールカウンセラー「平24.4より」</p>
<p>平成二十一年 (2009) ~ 二十五年 (2013) 年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 「メタボ通信」)、共著、平成21年6月、診断と治療社、チームで撲滅！メタボリックシンドローム (pp.153-158)</p> <p>(論文) 1. 「自己愛と対人距離との関連」、共著、平成23年3月、京都教育大学紀要 116 (pp.37-52) 2. 「幼児の音楽発達とリトミックに関する一考察 楽曲分析と事例検討をとおして」、共著、平成23年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第3集 (pp.17-30) 3. 「音楽をとおしての発達支援 保育場面での音楽と、親子教室での音楽療法的関わりとの比較検討から」、単著、平成23年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究創刊号 (pp.87-95) 4. 「発達に気になる子に対する保育士の意識と保育所の音楽的環境についての一考察」、共著、平成23年3月、京都教育大学附属教育実践センター機構 特別支援教育臨床実践センター年報第1号 (pp.69-76) 5. 「小学校音楽科教育と幼児教育との連続性の検討 小学校学習指導要領 (音楽) の比較分析から」(研究ノート)、単著、平成24年3月、京都文教大学 心理社会的研究第2集 (pp.55-66) 6. 「音楽科教育における創作活動の意義 教科の特性を生かして」(研究ノート)、単著、平成24年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第4集 (pp.57-66) 7. 「若手保育士の仕事の負担感とカウンセリングスキルに関する報告」(報告)、単著、平成25年3月、京都文教大学 心理社会的研究第3集 (pp.89-100)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/3)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	<p>(学会報告、学会活動)</p> <p>1. 「自己愛と対人距離との関連」(口頭発表)、単独、平成24年9月、日本心理臨床学会第31回秋季大会、愛知学院大学</p>
	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>報告:</p> <p>1. 「人間学研究所・臨床心理学部共催 Relax' masをあなたに ゆっくり まったり ホットコンサート 開催報告」、平成25年3月、共著、共著者:松井愛奈、京都文教大学 心理社会的支援研究第3集 (pp.101-103)</p> <p>インタビュー記事:</p> <p>1. 「話すことの効用」、平成24年6月、リビング京都</p> <p>その他:</p> <p>1. 「メタボ通信」、共著、平成19-21年、まぐまぐ(週刊)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成23年9月-10月 保育士のカウンセリングスキルについて調査                  平成24年9月-平成25年2月 乳児院における音楽活動の実態調査 インタビュー                  平成25年9月-10月 保育士のカウンセリングスキルについて調査(再調査)</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成23年 4月 教職課程委員会委員「平25.3まで」                  PSW委員会委員「現在に至る」                  平成24年 4月 オープンキャンパス担当「現在に至る」                  プレエントランス担当「平25.3まで」                  平成25年 4月 学生相談室運営委員会委員「現在に至る」</p>
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成25年11月 平成25年度秋期教員免許状更新講習講師(共同)、「子どものこころ」を育む関わり」、於:京都文教大学</p>
	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成24年10月 京都教育大学附属桃山中学校、「音楽療法」、対象:2年生・3年生                  平成24年11月 京都文教高等学校、「人との関わり合いの中の自己」、対象:2年生</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成24年 6月 京都市PTA「家庭教育学級」、「思春期の特性」、対象:PTA会員                  平成24年12月 京都市PTA「家庭教育学級」、「気持ちを伝えあえる親子関係に向けて今、出来ること」、対象:PTA会員</p>
	<p>(その他)</p> <p>平成19年 9月 国立病院機構 京都医療センター メタボ会における司会進行                  「以降、平20.1、平20.4、平20.10、平21.2、平22.6、平23.9」                  平成24年 4月 京都市スクールカウンセラー「現在に至る」                  平成24年 6月 京都文教教養講座 臨床心理学科テーマ:「音楽と物語」第2回講師、「音楽療法のこれから」、於:京都文教大学</p>